令和元年６月１０日差替版

注３ **大学番号：私０１４**

認可

［平成２９年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

仙台大学　体育学部　子ども運動教育学科

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人朴沢学園

令和元年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　入試創職室

職名・氏名　主幹　中鉢（チュウバチ）　芳尚（ヨシタカ）

電話番号　０２２４－５５－１０１７

（夜間）　０２２４－５５－１１２１

ＦＡＸ　０２２４－５７－２７６９

ｅ－mail　ys-chubachi@sendai-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、平成３１年４月２日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

体育学部

＜子ども運動教育学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人朴沢学園

（2）大　学　名

仙台大学

（3）調査対象大学等の位置

〒９８９－１６９３
宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目２番１８号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ホウザワ　タイジ） 朴澤　泰治 （平成３年４月）		
学　　長	（アベ　ヨシキチ） 阿部　芳吉 （平成２６年４月）	（エンドウ　ヤスオ） 遠藤　保雄 （平成３０年４月）	前学長の退任に伴う変更。平成３０年４月１日。（３０）
学 部 長			
学科長等	（クノウ　カズオ） 久能　和夫 （平成２９年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
体育学部 子ども運動教育学科 学士（子ども運動教育学）	体育関係 教育学・保育学関係	年 4	人 40	年次 人 －	人 160	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

対象年度／区分	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度						平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	４０人 （－） [－]	-人 [－]	４０人 （－） [－]	-人 [－]	４０人 （－） [－]	-人 [－]	人 （　） [　]	人 [　]	人 （　） [　]	人 [　]	０．８９倍	－　倍	
志願者数	34 （－） [－]	- （－） [－]	86 （－） [－]	- （－） [－]	63 （－） [－]	- （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
受験者数	34 （－） [－]	- （－） [－]	85 （－） [－]	- （－） [－]	63 （－） [－]	- （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
合格者数	25 （－） [－]	- （－） [－]	56 （－） [－]	- （－） [－]	51 （－） [－]	- （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
B　入学者数	18 （－） [－]	- （－） [－]	48 （－） [－]	- （－） [－]	41 （－） [－]	- （－） [－]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]	（　） [　]			
入学定員超過率 B／A	0.45		1.20		1.02								

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（　））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２９年度		平成３０年度		令和元年度						備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	18 [－] (－)	- [－] (－)	49 [－] (1)	- [－] (－)	44 [－] (3)	[－] (－)	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
２年次			17 [－] (－)	- [－] (－)	46 [－] (－)	[－] (－)	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
３年次					16 [－] (－)	[－] (－)	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
４年次							[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	18 [－] (－)		66 [－] (1)		106 [－] (3)		[ ] ( )		[ ] ( )		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成29年度	18 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	66 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	106 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	経済的事情による
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合　計		1 人		1 人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 0 / 18 ＝ 0 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 0 / 66 ＝ 0 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ 1 / 106 ＝ 0.94 %

【　　年度】

　　年度の退学者数(a) / 　　年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ 　　%

【　　年度】

　　年度の退学者数(a) / 　　年度の在学者数(b) ＝ 0 / 0 ＝ 　　%

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜体育学部　子ども運動教育学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	導入演習	1前	2			1		1			
	情報処理	1前	2								1
	学習基礎教養演習	1後	2			1					
	英語A（含外国語コミュニケーション）	1前	2								1
	英語B（含外国語コミュニケーション）	1後	2								1
	哲学入門	1・2・3前		2							1
	現代の思想	1・2・3後		2							1
	心理学概論	1・2・3前		2							1
	人の心と行動	1・2・3後		2							1
	ことばと人間A	2前		2							1
	ことばと人間B	2後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1休		2							1
	日本の文化Ⅱ	1休		2							1
	社会学概論	1・2・3前		2				1			
	社会構造と人間関係	1・2・3後		2				1			
	消費経済とスポーツ	1・2・3後		2							1
	世界経済・日本経済とスポーツ	1・2・3前		2							1
	法学	1・2・3前		2							1
	歴史学入門	1・2・3前		2							1
	歴史と人間	1・2・3後		2							1
	生物科学	1・2・3前		2							1
	エコロジー概論	1・2・3後		2							1
	教養数学	1・2・3前		2							1
	体育系大学の基礎教養	1前	2			1					
	仙台大学の専門教養演習Ⅰ	2通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅱ	3通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅲ	4通		2							1
	全学教養演習	2前・後	2			5	1	3	1		
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ	3前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞA	2前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞB	2後		2							1
	英会話A	2前		2							1
	英会話B	2後		2							1
	スポーツ&イングリッシュ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅰ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	3後		2							1
	スペイン語Ⅰ	3前		2							1
	スペイン語Ⅱ	3後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2		1					
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	韓国語Ⅰ	2前		2				1			
	韓国語Ⅱ	2後		2				1			
	日本語Ⅰ	1休		2							1
	日本語Ⅱ	1休		2							1
	日本語Ⅲ	1休		2							1
	日本語Ⅳ	1休		2							1
	キャリアプランニングⅠ	1後	2			1		1			
	キャリアプランニングⅡ	2休	2								1
	キャリアプランニングⅢ	3前	2								1
	小計49科目										

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	導入演習	1前	2			1		1			
	情報処理	1前	2								2
	学習基礎教養演習	1後	2			1					
	英語A（含外国語コミュニケーション）	1前	2								4
	英語B（含外国語コミュニケーション）	1後	2								4
	哲学入門	1・2・3前		2							1
	現代の思想	1・2・3後		2							1
	心理学概論	1・2・3前		2							1
	人の心と行動	1・2・3後		2							1
	ことばと人間A	2前		2							1
	ことばと人間B	2後		2							3
	日本の文化Ⅰ	1休		2							1
	日本の文化Ⅱ	1休		2							1
	社会学概論	1・2・3前		2				1			
	社会構造と人間関係	1・2・3後		2				1			
	消費経済とスポーツ	1・2後		2							1
	世界経済・日本経済とスポーツ	1・2前		2							1
	法学	1・2・3前		2							1
	歴史学入門	1・2・3前		2							1
	歴史と人間	1・2・3後		2							1
	生物科学	1・2・3前		2							1
	エコロジー概論	1・2・3後		2							1
	教養数学	1・2前後		2							1
	体育系大学の基礎教養	1前	2			1					
	仙台大学の専門教養演習Ⅰ	2通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅱ	3通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅲ	4通		2							1
	全学教養演習	2前・後	2			4	2	3			
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ	3後		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞA	2前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞB	2後		2							1
	英会話A	2前		2							1
	英会話B	2後		2							1
	スポーツ&イングリッシュ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅰ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	3後		2							1
	スペイン語Ⅰ	3前		2							1
	スペイン語Ⅱ	3後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	韓国語Ⅰ	2前		2			1				
	韓国語Ⅱ	2後		2			1				
	日本語Ⅰ	1休		2							1
	日本語Ⅱ	1休		2							1
	日本語Ⅲ	1休		2							1
	日本語Ⅳ	1休		2							1
	キャリアプランニングⅠ	1後	2			1		1			
	キャリアプランニングⅡ	2休	2								1
	キャリアプランニングⅢ	3前	2								1
	小計49科目										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツ心理学	1前	2								1
	スポーツバイオメカニクス	2前	2								1
	運動生理学	2後	2								1
	スポーツ指導の基礎（含実習）	2後	2								1
	幼少年体育論	2前	2								1
	子どもの生活Ⅰ	1前	2			1					
	子どもの生活Ⅱ	1後	2			1					
	体育講義	1前	1			1					
	幼児体育論	1前	2					1			
	子どもと発育	1後	2					1			
	子どもとあそび	1後	1			1					
	トレーニングの基礎	1前	1								1
	陸上競技	1前・後		1							1
	器械運動	2前・後		1							1
	水泳	1前		1							1
	バレーボール	1前・後		1							1
	バスケットボール	1前・後		1							1
	ハンドボール	1前・後		1							1
	サッカー	2前・後		1							1
	ラグビー	2前・後		1							1
	柔道	1前		1							1
	剣道	1前		1							1
	ダンスⅠ	1前		1				1			
	海浜実習	1前		1							1
	スキーⅠ	1後		1							1
	スケート	1後		1							1
	キャンプ	2前		1							1
	小計28科目										
発展科目	幼児体育指導論	2前	2					1			
	教育の基礎理論Ｂ	2前	2					1			
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2								1
	子どもの心理学Ⅱ	2後	2								1
	子どもとリズム表現	3前	1					1			
	社会福祉	1後		2							1
	児童家庭福祉	2前		2		1					
	家庭支援論	2後		2		1					
	幼児健康教育論	3前		2							1
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	子どもの安全管理	3前	2					1			
	幼少年スポーツ教育論	3後	2			1					
	体育原理	1前		2							1
	スポーツ医学概論	1後		2							1
	運動障害救急法（含実習）	2前		2							1
	運動学（含運動方法学）	2前		2							1
	スポーツ栄養学	2後		2							1
	スポーツ史	2前		2							1
	衛生・公衆衛生学	2前		2							2
	卒業論文	4通	6			5	1	3			
	小計22科目										
応用科目	日本国憲法	2前		2							1
	教育の制度Ｂ	2前		2		1					1
	教育と社会	2後		2				1			
	幼児理解の理論と方法（教育相談、カウンセリング基礎を含む）	2前	2								1
	教育方法論Ｂ	3前	2								2
	保育内容指導論	3前	2			1					
	乳児保育	2前		2			1				
	社会的養護内容	2後		1		1					
	相談援助	2後		1							1
	社会的養護	3前		2		1					
	障害児保育	3前		2							1
	保育相談支援	3後		1							1
	教職論Ｃ	1後	2			1					1
	音楽表現Ⅰ	1前		2							1
	音楽表現Ⅱ	1後		2							1
	絵画・造形表現Ⅰ	2前		2							1
	絵画・造形表現Ⅱ	2後		2							1
	運動身体表現Ⅰ	2前		2		1					
	運動身体表現Ⅱ	2後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	スポーツ社会学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1前	2								2
	スポーツバイオメカニクス	2後	2								1
	運動生理学	2前	2								1
	スポーツ指導の基礎（含実習）	2休	2								2
	幼少年体育論	2前	2								1
	子どもの生活Ⅰ	1前	2			1					
	子どもの生活Ⅱ	1後	2			1					
	体育講義	1前	1			1					
	幼児体育論	1前	2				1				
	子どもと発育	1後	2				1				
	子どもとあそび	1後	1			1					
	トレーニングの基礎	1前・後	1								9
	陸上競技	1前・後		1							4
	器械運動	2前		1							2
	水泳	1前		1							1
	バレーボール	1前・後		1							1
	バスケットボール	2前・後		1							2
	ハンドボール	2前・後		1							1
	サッカー	2前・後		1							3
	ラグビー	2前・後		1							1
	柔道	1前・後		1							2
	剣道	1前・後		1							1
	ダンスⅠ	1前・後		1				1			
	海浜実習	1前		1							1
	スキーⅠ	1後		1							2
	スケート	1後		1							3
	キャンプ	2前		1							1
	小計28科目										
発展科目	幼児体育指導論	2前	2				1				
	教育の基礎理論Ｂ	2前	2					1			
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2								1
	子どもの心理学Ⅱ	2後	2								1
	子どもとリズム表現	3前	1					1			
	社会福祉	1後		2							2
	児童家庭福祉	2前		2		1					
	家庭支援論	2後		2		1					
	幼児健康教育論	3前		2							1
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	子どもの安全管理	3前	2				1				
	幼少年スポーツ教育論	3前	2			1					
	体育原理	1後		2							1
	スポーツ医学概論	1後		2							1
	運動障害救急法（含実習）	2前		2							1
	運動学（含運動方法学）	2前		2							1
	スポーツ栄養学	2後		2							2
	スポーツ史	2後		2							1
	衛生・公衆衛生学	2前		2							2
	卒業論文	4通	6			5	2	2			
	小計22科目										
応用科目	日本国憲法	2後		2							1
	教育の制度Ｂ	2前		2		~~1~~					1
	教育と社会	2後		2				1			
	幼児理解の理論と方法（教育相談、カウンセリング基礎を含む）	2前	2								1
	教育方法論Ｂ	3前	2								2
	保育内容指導論	3前	2			1					
	乳児保育	2前		2			1				
	社会的養護内容	2後		1		1					
	相談援助	2後		1							1
	社会的養護	3前		2		1					
	障害児保育	3前		2							1
	保育相談支援	3前		1							1
	教職論Ｃ	1後	2			~~1~~	1				1
	音楽表現Ⅰ	1前		2							1
	音楽表現Ⅱ	1後		2							1
	絵画・造形表現Ⅰ	2前		2							1
	絵画・造形表現Ⅱ	2後		2							1
	運動身体表現Ⅰ	2前		2		1					
	運動身体表現Ⅱ	2後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用科目	保育原理	2後	2			1					
	保育課程論	3前	2								1
	子どもとことばⅠ	3前		2		1					
	子どもとことばⅡ	3後		2		1					
	保育内容総論	3前	2				1				
	保育内容演習（健康）	3前	2					1			
	保育内容演習（人間関係）	3前	2								1
	保育内容演習（環境）	3前	2								1
	保育内容演習（言葉）	3後	2								1
	保育内容演習（表現）	3後	2								1
	ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	2前		2							1
	ｼﾞｭﾆｱｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ論	3後		2							1
	テーピング	1前・後		1							1
	レクリエーション実技Ⅰ	1前・後		1							1
	体操（含体つくり運動）	2前		1					1		
	新体操	2後		1							1
	エアロビックダンス	3前		1							1
	テニス	3前		1							1
	卓球	4前		1							1
	バドミントン	4前		1							1
	ソフトボール	4前		1							1
	ボランティア活動実践A	1休		1							1
	ボランティア活動実践B	2休		1							1
	ボランティア活動実践C	3休		1							1
	ボランティア活動実践D	4休		1							1
	海外短期研修A	1～4		1							1
	海外短期研修B	1～4		1							1
	海外短期研修C	1～4		1							1
	海外短期研修D	1～4		1							1
	小計50科目										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用科目	保育原理	2後	2			1					
	保育課程論	3前	2								1
	子どもとことばⅠ	3前		2		1					
	子どもとことばⅡ	3後		2		1					
	保育内容総論	3前	2				1				
	保育内容演習（健康）	3前	2				1				
	保育内容演習（人間関係）	3前	2								1
	保育内容演習（環境）	3前	2								1
	保育内容演習（言葉）	3後	2								1
	保育内容演習（表現）	3後	2								1
	ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	2前		2							1
	ｼﾞｭﾆｱｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ論	3後		2							1
	テーピング	1後		1							3
	レクリエーション実技Ⅰ	1後		1							2
	体操（含体つくり運動）	2休		1				1			
	新体操	2後		1							1
	エアロビックダンス	3前		1							1
	テニス	3前		1							1
	卓球	4前		1							1
	バドミントン	4前		1							1
	ソフトボール	4前		1							1
	ボランティア活動実践A	1休		1							1
	ボランティア活動実践B	2休		1							1
	ボランティア活動実践C	3休		1							1
	ボランティア活動実践D	4休		1							1
	海外短期研修A	1～4		1							1
	海外短期研修B	1～4		1							1
	海外短期研修C	1～4		1							1
	海外短期研修D	1～4		1							1
	小計50科目										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	保育実習Ⅰ	3休		4		1		1			1
	保育実習Ⅱ	4休		2		1	1				
	保育実習Ⅲ	4休		2		1					
	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1	1	1			
	保育実習指導Ⅱ	3後		1		1	1				
	保育実習指導Ⅲ	4前		1			1				
	保育実践演習	4後		2			1				
	幼稚園教育実習Ⅰ	3～4		1			1				
	（事前・事後指導）						1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4休		4			1				
	教職総合演習（幼稚園）	3後		2			1				
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1				
	小計11科目										
合計（160科目）		－									

卒業要件及び履修方法

・基礎科目30単位、専門基礎科目23単位、発展科目19単位、応用科目26単位（「教育の制度B」又は「教育と社会」のどちらかの選択必修含む）を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	保育実習Ⅰ	3休		4		1		1			1
	保育実習Ⅱ	4休		2		1	1				
	保育実習Ⅲ	4休		2		1					
	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1	1	1			
	保育実習指導Ⅱ	3後		1		1	1				
	保育実習指導Ⅲ	4前		1			1				
	保育実践演習	4後		2			1				
	幼稚園教育実習Ⅰ	3～4		1			1				
	（事前・事後指導）						1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4休		4			1				
	教職総合演習（幼稚園）	3後		2			1				
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1				
	小計11科目										
合計（160科目）		－									

卒業要件及び履修方法

・基礎科目30単位、専門基礎科目23単位、発展科目19単位、応用科目26単位（「教育の制度B」又は「教育と社会」のどちらかの選択必修含む）を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	導入演習	1前	2			1		1			
	情報処理	1前	2								2
	学習基礎教養演習	1後	2			1					
	英語A（含外国語コミュニケーション）	1前	2								4
	英語B（含外国語コミュニケーション）	1後	2								4
	哲学入門	1・2・3前		2							1
	現代の思想	1・2・3後		2							1
	心理学概論	1・2・3前		2							1
	人の心と行動	1・2・3後		2							1
	ことばと人間A	2前		2							1
	ことばと人間B	2後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1休		2							1
	日本の文化Ⅱ	1休		2							1
	社会学概論	1・2・3前		2				1			
	社会構造と人間関係	1・2・3後		2				1			
	消費経済とスポーツ	1・2・3後		2							2
	世界経済・日本経済とスポーツ	1・2・3前		2							1
	法学	1・2・3前		2							1
	歴史学入門	1・2・3前		2							1
	歴史と人間	1・2・3後		2							1
	生物科学	1・2・3前		2							1
	エコロジー概論	1・2・3後		2							1
	教養数学	1・2・3前後		2							1
	体育系大学の基礎教養	1前	2			1					
	仙台大学の専門教養演習Ⅰ	2通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅱ	3通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅲ	4通		2							1
	全学教養演習	2前・後	2			4	1	3	1		
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ	3前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞA	2前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞB	2後		2							1
	英会話A	2前		2							1
	英会話B	2後		2							1
	スポーツ&イングリッシュ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅰ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	3後		2							1
	スペイン語Ⅰ	3前		2							1
	スペイン語Ⅱ	3後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	韓国語Ⅰ	2前		2				1			
	韓国語Ⅱ	2後		2				1			
	日本語Ⅰ	1休		2							1
	日本語Ⅱ	1休		2							1
	日本語Ⅲ	1休		2							1
	日本語Ⅳ	1休		2							1
	キャリアプランニングⅠ	1後	2			1		1			
	キャリアプランニングⅡ	2休	2								1
	キャリアプランニングⅢ	3前	2								1
	小計49科目										

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎科目	導入演習	1前	2			1		1			
	情報処理	1前	2								2
	学習基礎教養演習	1後	2			1					
	英語A（含外国語コミュニケーション）	1前	2								4
	英語B（含外国語コミュニケーション）	1後	2								4
	哲学入門	1・2・3前		2							1
	現代の思想	1・2・3後		2							1
	心理学概論	1・2・3前		2							1
	人の心と行動	1・2・3後		2							1
	ことばと人間A	2前		2							1
	ことばと人間B	2後		2							3
	日本の文化Ⅰ	1休		2							1
	日本の文化Ⅱ	1休		2							1
	社会学概論	1・2・3前		2				1			
	社会構造と人間関係	1・2・3後		2				1			
	消費経済とスポーツ	1・2・3後		2							1
	世界経済・日本経済とスポーツ	1・2・3前		2							1
	法学	1・2・3前		2							1
	歴史学入門	1・2・3前		2							1
	歴史と人間	1・2・3後		2							1
	生物科学	1・2・3前		2							1
	エコロジー概論	1・2・3後		2							1
	教養数学	1・2・3前後		2							1
	体育系大学の基礎教養	1前	2			1					
	仙台大学の専門教養演習Ⅰ	2通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅱ	3通	2								1
	仙台大学の専門教養演習Ⅲ	4通		2							1
	全学教養演習	2前・後	2			4	1	4			
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾄﾗﾝｽﾚｰｼｮﾝ	3前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞA	2前		2							1
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ・ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞB	2後		2							1
	英会話A	2前		2							1
	英会話B	2後		2							1
	スポーツ&イングリッシュ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅰ	3前		2							1
	ドイツ語Ⅱ	3後		2							1
	スペイン語Ⅰ	3前		2							1
	スペイン語Ⅱ	3後		2							1
	中国語Ⅰ	2前		2							1
	中国語Ⅱ	2後		2							1
	韓国語Ⅰ	2前		2				1			
	韓国語Ⅱ	2後		2				1			
	日本語Ⅰ	1休		2							1
	日本語Ⅱ	1休		2							1
	日本語Ⅲ	1休		2							1
	日本語Ⅳ	1休		2							1
	キャリアプランニングⅠ	1後	2			1		1			
	キャリアプランニングⅡ	2休	2								1
	キャリアプランニングⅢ	3前	2								1
	小計49科目										

専門基礎科目	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツ心理学	1前	2								2
	スポーツバイオメカニクス	2前	2								1
	運動生理学	2後	2								1
	スポーツ指導の基礎（含実習）	2後	2								1
	幼少年体育論	2前	2								1
	子どもの生活Ⅰ	1前	2			1					
	子どもの生活Ⅱ	1後	2			1					
	体育講義	1前	1			1					
	幼児体育論	1前	2					1			
	子どもと発育	1後	2					1			
	子どもとあそび	1後	1			1					
	トレーニングの基礎	1後	1								6
	陸上競技	1前・後		1							4
	器械運動	2前・後		1							1
	水泳	1前		1							1
	バレーボール	1前・後		1							2
	バスケットボール	1前・後		1							1
	ハンドボール	1前・後		1							1
	サッカー	2前・後		1							1
	ラグビー	2前・後		1							1
	柔道	1前・後		1							2
	剣道	1前・後		1							1
	ダンスⅠ	1前・後		1				1			
	海浜実習	1前		1							1
	スキーⅠ	1後		1							1
	スケート	1後		1							3
	キャンプ	2前		1							1
	小計28科目										
発展科目	幼児体育指導論	2前	2					1			
	教育の基礎理論B	2前	2					1			
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2								1
	子どもの心理学Ⅱ	2後	2								1
	子どもとリズム表現	3前	1					1			
	社会福祉	1後		2							2
	児童家庭福祉	2前		2		1					
	家庭支援論	2後		2		1					
	幼児健康教育論	3前		2							1
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	子どもの安全管理	3前	2					1			
	幼少年スポーツ教育論	3後	2			1					
	体育原理	1後		2							1
	スポーツ医学概論	1後		2							1
	運動障害救急法（含実習）	2前		2							1
	運動学（含運動方法学）	2前		2							1
	スポーツ栄養学	2後		2							1
	スポーツ史	2前		2							1
	衛生・公衆衛生学	2前		2							2
	卒業論文	4通	6			5	1	3			
	小計22科目										
応用科目	日本国憲法	2前		2							1
	教育の制度B	2前		2		~~1~~					1
	教育と社会	2後		2				1			
	幼児理解の理論と方法（教育相談、カウンセリング基礎を含む）	2前	2								1
	教育方法論B	3前	2								2
	保育内容指導論	3前	2			1					
	乳児保育	2前		2			1				
	社会的養護内容	2後		1		1					
	相談援助	2後		1							1
	社会的養護	3前		2		1					
	障害児保育	3前		2							1
	保育相談支援	3後		1							1
	教職論C	1後	2			~~1~~	1				1
	音楽表現Ⅰ	1前		2							1
	音楽表現Ⅱ	1後		2							1
	絵画・造形表現Ⅰ	2前		2							1
	絵画・造形表現Ⅱ	2後		2							1
	運動身体表現Ⅰ	2前		2		1					
	運動身体表現Ⅱ	2後		2		1					

専門基礎科目	スポーツ社会学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1前	2								2
	スポーツバイオメカニクス	2後	2								1
	運動生理学	2前	2								1
	スポーツ指導の基礎（含実習）	2休	2								2
	幼少年体育論	2前	2								1
	子どもの生活Ⅰ	1前	2			1					
	子どもの生活Ⅱ	1後	2			1					
	体育講義	1前	1			1					
	幼児体育論	1前	2					1			
	子どもと発育	1後	2					1			
	子どもとあそび	1後	1			1					
	トレーニングの基礎	1前・後	1								9
	陸上競技	1前・後		1							4
	器械運動	2前		1							2
	水泳	1前		1							1
	バレーボール	1前・後		1							1
	バスケットボール	1前・後		1							2
	ハンドボール	1前・後		1							1
	サッカー	2前・後		1							3
	ラグビー	2前・後		1							1
	柔道	1前・後		1							2
	剣道	1前・後		1							1
	ダンスⅠ	1前・後		1				1			
	海浜実習	1前		1							1
	スキーⅠ	1後		1							2
	スケート	1後		1							3
	キャンプ	2前		1							1
	小計28科目										
発展科目	幼児体育指導論	2前	2					1			
	教育の基礎理論B	2前	2					1			
	子どもの心理学Ⅰ	2前	2								1
	子どもの心理学Ⅱ	2後	2								1
	子どもとリズム表現	3前	1					1			
	社会福祉	1後		2							2
	児童家庭福祉	2前		2		1					
	家庭支援論	2後		2		1					
	幼児健康教育論	3前		2							1
	子どもの保健Ⅰ	3前		4							1
	子どもの保健Ⅱ	3後		1							1
	子どもの食と栄養	3後		2							1
	子どもの安全管理	3前	2					1			
	幼少年スポーツ教育論	3後	2			1					
	体育原理	1後		2							1
	スポーツ医学概論	1後		2							1
	運動障害救急法（含実習）	2前		2							1
	運動学（含運動方法学）	2前		2							1
	スポーツ栄養学	2後		2							2
	スポーツ史	2後		2							1
	衛生・公衆衛生学	2前		2							2
	卒業論文	4通	6			5	1	3			
	小計22科目										
応用科目	日本国憲法	2後		2							1
	教育の制度B	2前		2		~~1~~					1
	教育と社会	2後		2				1			
	幼児理解の理論と方法（教育相談、カウンセリング基礎を含む）	2前	2								1
	教育方法論B	3前	2								2
	保育内容指導論	3前	2			1					
	乳児保育	2前		2			1				
	社会的養護内容	2後		1		1					
	相談援助	2後		1							1
	社会的養護	3前		2		1					
	障害児保育	3前		2							1
	保育相談支援	3後		1							1
	教職論C	1後	2			~~1~~	1				1
	音楽表現Ⅰ	1前		2							1
	音楽表現Ⅱ	1後		2							1
	絵画・造形表現Ⅰ	2前		2							1
	絵画・造形表現Ⅱ	2後		2							1
	運動身体表現Ⅰ	2前		2		1					
	運動身体表現Ⅱ	2後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用科目	保育原理	2後	2			1					
	保育課程論	3前	2								1
	子どもとことばⅠ	3前		2		1					
	子どもとことばⅡ	3後		2		1					
	保育内容総論	3前	2				1				
	保育内容演習（健康）	3前	2					1			
	保育内容演習（人間関係）	3前	2								1
	保育内容演習（環境）	3前	2								1
	保育内容演習（言葉）	3後	2								1
	保育内容演習（表現）	3後	2								1
	ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	2前		2							1
	ｼﾞｭﾆｱｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ論	3後		2							1
	テーピング	1後		1							2
	レクリエーション実技Ⅰ	1後		1							2
	体操（含体つくり運動）	2前		1					1		
	新体操	2後		1							1
	エアロビックダンス	3前		1							1
	テニス	3前		1							1
	卓球	4前		1							1
	バドミントン	4前		1							1
	ソフトボール	4前		1							1
	ボランティア活動実践A	1休		1							1
	ボランティア活動実践B	2休		1							1
	ボランティア活動実践C	3休		1							1
	ボランティア活動実践D	4休		1							1
	海外短期研修A	1～4		1							1
	海外短期研修B	1～4		1							1
	海外短期研修C	1～4		1							1
	海外短期研修D	1～4		1							1
	小計50科目										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
応用科目	保育原理	2後	2			1					
	保育課程論	3前	2								1
	子どもとことばⅠ	3前		2		1					
	子どもとことばⅡ	3後		2		1					
	保育内容総論	3前	2				1				
	保育内容演習（健康）	3前	2					1			
	保育内容演習（人間関係）	3前	2								1
	保育内容演習（環境）	3前	2								1
	保育内容演習（言葉）	3後	2								1
	保育内容演習（表現）	3後	2								1
	ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾄﾚｰﾅｰ概論	2前		2							1
	ｽﾎﾟｰﾂﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ概論	2前		2							1
	ｼﾞｭﾆｱｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ論	3後		2							1
	テーピング	1後		1							3
	レクリエーション実技Ⅰ	1後		1							2
	体操（含体つくり運動）	2後		1				1			
	新体操	2後		1							1
	エアロビックダンス	3前		1							1
	テニス	3前		1							1
	卓球	4前		1							1
	バドミントン	4前		1							1
	ソフトボール	4前		1							1
	ボランティア活動実践A	1休		1							1
	ボランティア活動実践B	2休		1							1
	ボランティア活動実践C	3休		1							1
	ボランティア活動実践D	4休		1							1
	海外短期研修A	1～4		1							1
	海外短期研修B	1～4		1							1
	海外短期研修C	1～4		1							1
	海外短期研修D	1～4		1							1
	小計50科目										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	保育実習Ⅰ	3休		4		1		1			1
	保育実習Ⅱ	4休		2		1	1				
	保育実習Ⅲ	4休		2		1					
	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1	1	1			
	保育実習指導Ⅱ	3後		1		1	1				
	保育実習指導Ⅲ	4前		1			1				
	保育実践演習	4後		2			1				
	幼稚園教育実習Ⅰ	3～4		1			1				
	（事前・事後指導）						1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4休		4			1				
	教職総合演習（幼稚園）	3後		2			1				
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1				
	小計11科目										
合計（160科目）		－									

卒業要件及び履修方法

・基礎科目30単位、専門基礎科目23単位、発展科目19単位、応用科目26単位（「教育の制度B」又は「教育と社会」のどちらかの選択必修含む）を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
資格関連科目	保育実習Ⅰ	3休		4		1		1			1
	保育実習Ⅱ	4休		2		1	1				
	保育実習Ⅲ	4休		2		1					
	保育実習指導Ⅰ	2後		2		1	1	1			
	保育実習指導Ⅱ	3後		1		1	1				
	保育実習指導Ⅲ	4前		1			1				
	保育実践演習	4後		2			1				
	幼稚園教育実習Ⅰ	3～4		1			1				
	（事前・事後指導）						1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4休		4			1				
	教職総合演習（幼稚園）	3後		2			1				
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1				
	小計11科目										
合計（160科目）		－									

卒業要件及び履修方法

・基礎科目30単位、専門基礎科目23単位、発展科目19単位、応用科目26単位（「教育の制度B」又は「教育と社会」のどちらかの選択必修含む）を修得し、124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

（注）
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教育課程充実のため担当者増、「情報処理」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「英語Ａ」（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）の担当教員配置を「兼１」から「兼４」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「英語Ｂ」（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）の担当教員配置を「兼１」から「兼４」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「消費経済とスポーツ」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「教養数学」の配当年次を「1･2･3前」を「1･2･3前後」に変更。
・牛志奎教授就任辞退により、「全学教養演習」専任教員「教授５」から「教授４」に変更。
・牛志奎教授就任辞退により、「中国語Ⅰ」専任教員「教授１」から「兼担教員１」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「スポーツ心理学」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「トレーニングの基礎」の配当年次を「１前」を「１後」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼６」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「陸上競技」の担当教員配置を「兼１」から「兼４」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「バレーボール」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「柔道」の配当年次を「１前」を「１前・後」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「剣道」の配当年次を「１前」を「１前・後」に変更。
・時間割編成の都合上「ダンスⅠ」の配当年次を「１前」を「１前・後」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「スケート」の担当教員配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「社会福祉」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「体育原理」の配当年次を「１前」を「１後」に変更。
・牛志奎教授就任辞退により、「教育の制度Ｂ」専任教員「教授１」・「兼担１」から「兼担教員１」に変更。
・牛志奎教授就任辞退により、「教職論Ｃ」専任教員「教授１」・「兼担１」から専任教員「准教授１」・「兼担教員１」に変更。
・時間割編成の都合上「テーピング」の配当年次を「１前・後」を「１後」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「レクリエーション実技Ⅰ」の配当年次を「１前・後」を「１後」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。

【平成３０年度】

・教育課程充実のため担当者増、「ことばと人間Ｂ」の担当教員配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・授業担当者学長就任のため「消費経済とスポーツ」の担当教員配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・溝口絵里加専任教員が助教から講師に昇任（ＡＣ教員審査７月：講師判定可）のため、「全学教養演習」専任教員の配置を「講師３」から「講師４」に変更。併せて、「助教１」から「助教０」に変更。
・時間割編成の都合上「スポーツ社会学」の配当年次を「１前」を「１後」に変更。
・時間割編成の都合上「スポーツバイオメカニクス」の配当年次を「２前」を「２後」に変更。
・時間割編成の都合上「運動生理学」の配当年次を「２後」を「２前」に変更。
・時間割編成の都合上「スポーツ指導の基礎（含実習）」の配当年次を「２後」を「２休」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「トレーニングの基礎」の配当年次を「１前」を「１前・後」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼６」から「兼９」に変更。
・時間割編成の都合上「器械運動」の配当年次を「２前・後」を「２前」に変更。また教育課程充実のため担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「バレーボール」の担当教員配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「バスケットボール」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「サッカー」の担当教員配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「スキーⅠ」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「スポーツ栄養学」の担当教員配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割編成の都合上「スポーツ史」の配当年次を「２前」を「２後」に変更。
・時間割編成の都合上「日本国憲法」の配当年次を「２前」を「２後」に変更。
・教育課程充実のため担当者増、「テーピング」の担当教員配置を「兼２」から「兼３」に変更。
・溝口絵里加専任教員が助教から講師に昇任（ＡＣ教員審査７月：講師判定可）のため、「体操（含体つくり運動）」専任教員の配置を「講師０」から「講師１」に変更。併せて、「助教１」から「助教０」に変更。
・時間割編成の都合上「体操（含体つくり運動）」の配当年次を「２前」を「２後」に変更。

【令和元年度】

・時間割編成の都合上「消費経済とスポーツ」の配当年次を「1･2･3後」を「1･2後」に変更。
・時間割編成の都合上「世界経済･日本経済とスポーツ」の配当年次を「1･2･3前」を「1･2前」に変更。
・時間割編成の都合上「教養数学」の配当年次を「1･2･3前後」を「1･2前後」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「全学教養演習」専任教員の配置を「准教授１」から「准教授２」に変更。併せて、「講師４」から「講師３」に変更。
・時間割編成の都合上「イングリッシュ・トランスレーション」の配当年次を「３前」を「３後」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「韓国語Ⅰ」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「韓国語Ⅱ」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「幼児体育論」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「子どもと発育」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・時間割編成の都合上「バスケットボール」の配当年次を「１前・後」を「２前・後」に変更。
・時間割編成の都合上「ハンドボール」の配当年次を「１前・後」を「２前・後」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「幼児体育指導論」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「子どもの安全管理」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・時間割編成の都合上「幼少年スポーツ教育論」の配当年次を「３後」を「３前」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査平成３０年７月：准教授判定可）のため、「卒業論文」専任教員の配置を「准教授１」から「准教授２」に変更。併せて、「講師３」から「講師２」に変更。
・時間割編成の都合上「保育相談支援」の配当年次を「３後」を「３前」に変更。
・金賢植専任教員が講師から准教授に昇任（ＡＣ教員審査３０年７月：准教授判定可）のため、「保育内容演習(健康)」専任教員の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・時間割編成の都合上「体操（含体つくり運動）」の配当年次を「２後」を「２休」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
45 科目	115 科目	科目	160 科目	45 科目 [0]	115 科目 [0]	科目 [0]	160 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目　　該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{160} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	○サッカー・ラグビー場 0.75km、徒歩9分 ○第２ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、野球場他 1.8km、バス利用7分 ○明仙フィールド川平 37.3km、車利用66分
	校舎敷地	45,608.11㎡	－㎡	－㎡	45,608.11㎡	
	運動場用地	106,984.00㎡	－㎡	－㎡	106,984.00㎡	
	小　計	152,592.11㎡	－㎡	－㎡	152,592.11㎡	
	その他	32,599.21 (31) ~~32,599.6 (29)~~ ~~32,683.21㎡~~	－㎡	－㎡	32,599.21 (31) ~~32,599.6 (29)~~ ~~32,683.21㎡~~	
	合　計	185,191.32 (31) ~~185,191.71 (29)~~ ~~185,275.32㎡~~	－㎡	－㎡	185,191.32 (31) ~~185,191.71 (29)~~ ~~185,275.32㎡~~	

(2) 校舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	19,562.40㎡ (19,562.40㎡)	－㎡ (－㎡)	－㎡ (－㎡)	19,562.40㎡ (19,562.40㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	３６室	１６室	２５室	１室 （補助職員　２人）	－室 （補助職員　－人）	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	
	体育学部子ども運動教育学科	~~10　9 (29)~~　12 (30)　室	平成29年１月就任予定専任教授１名退職のため（29） 平成３０年４月就任者３名着任のため（３０）

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	[大学全体での共用分] 図書123,217冊 [17,418冊] 学術雑誌1,463種 [160種] 電子ｼﾞｬｰﾅﾙ3,823種 [2,120種] データベース契約数5 視聴覚資料3,485
	体育学部 子ども運動教育学科	950〔115〕 (1713〔117〕) (31) ~~(1504〔103〕) (30)~~ ~~(900〔100〕)~~	100〔15〕 (20〔3〕)	1〔0〕 (1〔0〕)	30 (30)	1,440 (1,404)	20 (20)	
	計	950〔115〕 (1713〔117〕) (31) ~~(1504〔103〕) (30)~~ ~~(900〔100〕)~~	100〔15〕 (20〔3〕)	1〔0〕 (1〔0〕)	30 (30)	1,440 (1,404)	20 (20)	

(6) 図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	1,323.36㎡	220	130,000	

(7) 体育館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	20,965.32㎡	ハンドボールコート１面	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備（運用コスト含む）を含む
		教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	6,874千円	827千円	943千円	
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	29,184千円	500千円	500千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,370千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金及び手数料収入

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	仙台大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
大学院ｽﾎﾟｰﾂ科学研究科	2	23	－	46	修士 （ｽﾎﾟｰﾂ科学）	0.64		平成10	宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号	
体育学部	－	600	3年次 48	2356	－	1.14		－	同上	
体育学科	4	300	3年次 10	1120	学士 （体育学）	1.24		昭和42	同上	
健康福祉学科	4	100	3年次 20	440	学士 （健康福祉学）	1.03		平成7	同上	
運動栄養学科	4	80	3年次 8	336	学士 （運動栄養学）	1.06		平成15	同上	
ｽﾎﾟｰﾂ情報ﾏｽﾒﾃﾞｨｱ学科	4	40	－	160	学士 （ｽﾎﾟｰﾂ情報ﾏｽﾒﾃﾞｨｱ学）	1.13		平成19	同上	
現代武道学科	4	40	3年次 10	180	学士 （現代武道学）	1.14		平成23	同上	
子ども運動教育学科	4	40	－	120	学士 （子ども運動教育学）	0.89		平成29	同上	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・専任牛志奎教授一身上の都合により退職。就任辞退。担当科目である全学教養演習は、他に担当教員が充分にいるため後任補充せず。教育の制度Ｂは兼担講師である金井講師に変更。教職論Ｃは、専任柴田准教授に変更（平成２９年４月教員審査済）
・遠藤保雄教授退職。引き続き、兼任教員として勤務。「消費経済とスポーツ」担当科目の追加。
・児玉善廣教授担当科目「スケート」の追加。
・教育内容充実を図るため兼任教員追加。中津範洋：「スケート」
・鎌田幸雄教授担当科目「英語Ａ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」「英語Ｂ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」の追加。
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。荒牧亜衣：「スポーツ社会学」「バレーボール」
・内丸仁教授（平成２９年４月１日付教授昇任）
・菊地直子准教授担当科目「スポーツ心理学」の追加。
・南條充寿教授（平成２８年４月１日付教授昇任）
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。仲田直樹：「柔道」「トレーニングの基礎」
・早川公康教授（平成２９年４月１日付教授昇任）
・高橋亮教授（平成２８年４月１日付教授昇任）
・教育内容充実を図るため兼任教員追加。相場徹：「情報処理」
・教育内容充実を図るため兼担教授追加。菊地博：「英語Ａ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」「英語Ｂ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」
・教育内容充実を図るため兼任教員追加。志子田真由子：「英語Ａ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」「英語Ｂ（含外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）」
・山口貴久准教授（平成２８年４月１日付准教授昇任）
・馬佳灝准教授（平成２８年４月１日付准教授昇任）。「中国語Ⅰ」担当科目の追加。
・教育内容充実を図るため兼担教授追加。阿部肇：「トレーニングの基礎」
・教育内容充実を図るため兼担准教授追加。名取英二：「陸上競技」
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。宮崎利勝：「トレーニングの基礎」「陸上競技」
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。柴山一仁：「トレーニングの基礎」「陸上競技」
・吉井秀邦准教授（平成２８年４月１日付准教授昇任）。
・桑原康平講師（平成２８年４月１日付講師昇任）。
・河野未来助教担当科目「トレーニングの基礎」の追加。
・佐藤周平講師（平成２８年４月１日付講師昇任）。

【平成３０年度】

・専任溝口絵里加講師（平成２９年１０月１日付講師昇任）（平成２９年７月教員審査済）
・Marty Kuehnert教授退職。引き続き兼任教員として勤務。
・高成田享教授退職。引き続き兼任教員として勤務。
・遠藤保雄兼任教員が学長就任。兼担教授として勤務。「消費経済とスポーツ」は他の教員が担当。
・青沼一民教授担当科目「ことばと人間」の追加。
・教育内容充実を図るため兼担助教追加。菅野恵子：「バスケットボール」
・志賀野博教授退職に伴い、他の兼担教授に変更。大山さく子：「ボランティア活動実践Ａ」「ボランティア活動実践Ｂ」「ボランティア活動実践Ｃ」「ボランティア活動実践Ｄ」
・川口鉄二教授担当科目「器械運動」の追加。
・内丸仁教授担当科目「海外短期研修Ａ」「海外短期研修Ｂ」「海外短期研修Ｃ」「海外短期研修Ｄ」の追加。
・菊地直子教授（平成３０年４月１日付教授昇任）
・仲田直樹講師海外派遣に伴い、他の兼担助教に変更。川戸湧也：「柔道」
・武石健哉准教授担当科目「コーチング概論」「トレーニングの基礎」「スポーツ指導の基礎（含実習）」の追加。
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。平良拓也：「スポーツ栄養学」
・高橋亮教授担当科目「社会福祉」の追加。
・ジェリー バランギ講師担当科目「ことばと人間Ｂ」の追加。
・菊地博教授担当科目「ことばと人間Ｂ」の追加。
・山口貴久准教授担当科目「テーピング」の追加。
・鈴木良太講師担当科目「トレーニングの基礎」の追加。
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。小田桂吾：「テーピング」
・岡田成弘講師担当科目「スキーⅠ」の追加。
・「レクリエーション実技Ⅰ」担当者の変更。兼担小池和幸教授、兼担高崎義輝教授。
・門野洋介准教授（平成３０年４月１日付准教授昇任）
・阿部肇教授担当科目「スポーツ指導の基礎(含実習)」の追加。
・名取英二教授（平成３０年４月１日付教授昇任）
・教育内容充実を図るため兼担教授追加。中屋敷眞：「サッカー」
・教育内容充実を図るため兼担講師追加。黒澤尚：「サッカー」「トレーニングの基礎」
・桑原康平講師担当科目「トレーニングの基礎」の追加。
・河野未来講師（平成３０年４月１日付講師昇任）

【令和元年度】

・専任金賢植准教授（平成３０年１０月１日付准教授昇任）（平成３０年７月教員審査済）
・高橋陽介准教授（平成３１年４月１日付准教授昇任）
・岡田成弘准教授（平成３１年４月１日付准教授昇任）、併せて保有学位：博士（コーチング学）取得。
・柴山一仁准教授（平成３１年４月１日付准教授昇任）
・金井里弥准教授（平成３１年４月１日付准教授昇任）
・神野未来講師結婚のため改姓。（旧姓河野）
・トレーニングの基礎：黒澤尚講師から佐藤周平講師に変更。
・宍戸勇兼任教員退職に伴い、他の兼任教員に変更。千葉研一：「生物科学」「エコロジー概論」
・岩淵摂子兼任教員退職に伴い、他の兼任教員に変更。重川真紀：「音楽表現Ⅰ」「音楽表現Ⅱ」

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 専任教員数等

（2）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（2）－② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）
7	1	4	1	13	6	2	4	0	12
（4）	（1）	（3）	（1）	（9）					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）
6	2	4	0	12	6	2	4	0	12
[△1]	[1]	[0]	[△1]	[△1]	[△1]	[1]	[0]	[△1]	[△1]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授６７ 准教授６３ 講師以下６０ 歳	1 名	3 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{13} = \boxed{92.3}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
4	教授	NIU ZHIKUI 牛　志奎	H29.1	必修	全学教養演習	③	平成２９年１月、一身上の都合により退職。 就任辞退（29）
				選択	中国語Ⅰ	②	
				選択	教育の制度Ｂ	②	
				必修	教職論Ｃ	①	

合計（D）			後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	1 科目
	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	4 科目	計	1 科目	計	2 科目	計	1 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし							

合計（F）			後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	1 科目
	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	4 科目	計	1 科目	計	2 科目	計	1 科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（3）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						

合計			後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

牛教授（中国語Ⅰ－基礎科目・選択、教育の制度Ｂ－応用科目・選択必修、教職論Ｃ－応用科目・必修）の後任は「5．教員組織の状況」に記載のとおり。「教職論Ｃ」は新規教員を採用せずに既存の教員で対応する計画である。現在専任教員採用等設置計画変更書の手続きを行い、AC教員資格審査の結果伝達を待っている状況であるが、後任の教員については、同分野での業績も十分であることから、授業運営及び教育面における学生に対しての支障はないと考えている。
学生への周知に関しては年度初めのオリエンテーション、学生便覧、シラバスにより十分に説明を行っている。また、全学教養演習については９名の専任教員が担当している科目であることから支障のないものと考えている。（29）

前年度の報告では、授業科目「教職論Ｃ」の科目について、専任教員採用等設置計画変更書の手続きを行い、AC教員資格審査の結果伝達を待っている状況であると報告したが、平成２９年６月６日に専任教員柴田千賀子准教授・判定「可」の伝達あり。（30）

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （Ｈ２８年８月）	1. 教員の補充を必要とされた１授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	留意事項とされていた１授業科目「保育原理」については、大宮勇雄専任教員(平成30年4月就任)を補充し専任教員採用等設置計画変更書を提出し、教員資格審査(AC教員審査:平成28年11月審査)を受審、判定「可」をうけており教員は充足している。(29)	履行済	
	２．体育学部現代武道学科の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	平成28年度からは入学定員を30名から40名に増員した。平成29年度入試における入学者は50名（1.25倍）となる。引き続き、適切な定員管理に鋭意努力していく所存である。(29)	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （Ｈ３０年２月）	○体育学部現代武道学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	平成30年度入試においては、定員40名に対し入学者は41名（1.02倍）【別紙1参照】となり、入学定員超過は是正された。(30)	履行済	
	○体育学部子ども運動教育学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	開設年度時に未実施であったＡＯ入試Ⅰ期、スポーツＡＯ入試Ⅰ期、指定校推薦入試等で確実に受験者を確保。平成30年度入試においては、入学者数48名(1.20倍)【別紙1参照】となり、定員未充足は是正された。(30)	履行済	

設置計画履行状況調　査　時（Ｈ３０年２月）	○体育学部現代武道学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	本学の専任教員定年制度は、若年時採用の場合の定年規程（教授67歳、准教授63歳、講師以下60歳、なお65歳まで高齢者雇用安定法に対応）と国立大学等の公務員や民間企業その他、他所での定年退職者をその職歴・知識を本学教育に活用するために専任教授として採用する場合に67歳以降は70歳まで１年更新で雇用する制度との併用となっている。平成30年3月には、定年規程の趣旨を踏まえ、同規程に定める退職年齢を超える専任教員を2名から1名に減じた。 また、4月付で学科所属専任教員1名を採用（助教）。	未履行	平成30年4月現在における現代武道学科の専任教員の構成は教授4名（60～65歳2名、40代2名）、准教授2名（60～65歳1名、30代1名）、講師3名（66歳1名、30代2名）、助教1名（20代1名）の計10名となっている。なお、本学は少人数教育を標榜しているため専任教員数が設置基準上の必要教員数を相当数上回っており、科目担当制を適切に運営し、常に必要あるところから、新設学科完成年度以降においては、大学運営上、専任教員は学科所属ではなく全員を学部所属とし、各学科においては、その科目構成のうち主要科目担当教員が当該学科教育運営の中枢を担うとい観点に立っている。 しかし、併せて設置基準上および経常費補助の計算根拠としての学科所属必要数という両方の観点からも、本学科の人事計画については、今後も学科の教育課程を適切に運営し、常に必要数充足を念頭に置き、保有学位、専門性、年齢、職位のバランスに十分配慮した教員確保に努めることとする。
設置計画履行状況調　査　時（Ｈ３１年２月）	該当なし				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜体育学部　子ども運動教育学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	平成３１年４月より適用の児童福祉法施行規則・指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法の一部改正に伴い、カリキュラムの変更を行った。また併せて教職課程再課程認定に対応すべく、１科目の追加を行った。 （学則変更日：平成３１年４月１日） なお、カリキュラムの変更については、必要最低限の変更に止めており、教育の質の維持には問題は無いものと判断している。変更状況は別添新旧対照表のとおり。（別紙①） なお専任教員の担当授業科目の内容の変更に係る教員資格審査（ＡＣ教員審査）対象教員２名は、令和２年度より授業が開始されることから、今年度中にＡＣ教員審査を受審する予定である。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

a　委員会の設置状況

教育改善企画運営委員会を設置。授業方法の改善や教育内容の充実など教員の資質の維持向上に努める。

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度：5/15、6/12、7/4、8/7、10/2、11/20、1/8、2/12、3/22　計9回　委員８名

c　委員会の審議事項等

・本委員会の役割の確認
・今年度の活動計画について
・委員の役割分担について
・ＦＤ協議会への参加について
・学修時間調査の実施方法等について
・授業改善アンケートの実施方法について
・学内研修会の実施方法等について
・シラバスの作成手順について
・ＦＤネットワークつばさ平成30年度週刊・授業改善リレーエッセイについて
・ベストティーチャーズ賞候補者選考について
・外国語に関する研修会の実施方法について
・授業見学形式研修研修会の実施方法について
・授業改善アンケートについて
・成績登録方法の説明会について
・ルーブリックの作成について
・ＦＤ研修会について
・シラバス作成の手引きについて、入力フォーマットについて
・広報誌「ＳＵＦＤレポート」の作成について
・新任教員向けＦＤ研修会について
・シラバス及びルーブリック研修会について

② 実施状況

a 実施内容

・平成30年度新任教員のためのＦＤセミナーについて

・平成30年度外国語に関するＦＤ研修会

「仙台大学における外国語の授業の実践方向ー学生の主体性を引き出すための工夫ー」

・ＦＤ研修会

平成３０年度学習状況調査の概要報告

アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）を踏まえた成績評価について

・平成30年度学生主体の授業づくりのためのＦＤ研修会

「大学における理想の講義とは」

・ＦＤ研修会

「シラバスおよびルーブリック作成」

b 実施方法

・セミナー/ワークショップ/、冊子/データ等による情報共有、学外派遣等

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・平成30年度新任教員のためのＦＤセミナー

平成30年4月3日（火）11：00～12：30　　教員１０名　委員７名

・平成30年度外国語に関するＦＤ研修会

「仙台大学における外国語の授業の実践方告ー学生の主体性を引き出すための工夫ー」

平成30年9月18日（火）11：00～12：00　　講師４名（スペイン語・韓国語・英語）

・ＦＤ研修会

平成３０年度学習状況調査の概要報告

アセスメント・ポリシー（学修成果の評価の方針）を踏まえた成績評価について

平成30年9月18日（火）17：30～18：00　　全教員

・平成30年度学生主体の授業づくりのためのＦＤ研修会

「大学における理想の講義とは」

平成30年12月11日（火）14：20～16：20　　教員１３名　学生１２名

・ＦＤ研修会

「シラバスおよびルーブリック作成」

平成31年1月8日（火）17：30～18：00　　全教員

・第２２回ＦＤネットワークつばさＦＤ協議会

平成31年2月16日（土）　　教員１名派遣

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・研修会の後、全教員で情報を共有。ＦＤ広報誌等。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・ＦＤネットワークつばさ（山形大学主管）へ加盟

・前期１回、後期１回、　計２回実施

b 教員や学生への公開状況，方法等

教員にのみフィードバック

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の基本的な理念…少子高齢化が急速に進行する中、幼児期の子どもを含め、少ない数の子どもを如何に心身ともに健全に育成し、今後の社会の担い手に育てていくかが、我が国にとっての、大きな教育的、社会経済的な喫緊の課題となっている。このような状況を踏まえ、本学科においては、幼児期の子どもの心身の健全な育成に資するため、その発育段階で直面する問題、その発育発達を促す上での教育の特性を踏まえ、体育学を基盤としつつ、関連する教育学・保育学の領域を含めた、次の教育研究と人材の養成を行うことを基本的な理念とする。

・家庭、施設(幼稚園・認定こども園・保育所）、地域での幼児期の子どもの教育・保育を視野に入れ、幼児期の子どもに対し、運動遊びを軸とする身体活動の支援・助長、それを通じた心身の発育発達に資する総合的かつ体系的な教育研究。
・幼児期の子どもに対し、運動遊びを軸とする身体活動の支援・助長、これを通じた心身の健全な発育発達を促すことのできる高度な専門知識と実践的な教育力、更には、豊かな感性を有した幼稚園教諭の人材の育成、及びこれに併せての保育教諭、保育士、地域での幼児体育指導者などの人材の養成。

本学科の目的…ｉ）体育・スポーツ健康科学をベースとした体育学の領域を基盤とした運動遊びの支援・助長のあり方を軸とした幼児期の子どもの保育や教育に関する教育研究、ii）これに教育学・保育学にまたがる関係分野も取り込んだ、より総合的な幼児期の子どもの保育と幼児教育に関する教育研究、iii）幼少連携や幼保連携を視野に入れ、また、家庭・施設・地域を視野に地域全体で子どもの学びの展開をも念頭に置き、体育学を基盤として、これに関連する教育学･保育学をも合わせて修得し、幼児期の運動遊びの支援・助長を軸とした総合的な幼児教育を進めることに深い理解・関心･知見を有した幼稚園教諭、保育教諭、保育士、地域や家庭での幼児体育指導者を育成する。今後、完成年度に向け、具体的な総括評価・所見をしていく予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・令和元年７月１日 公表予定

b 公表方法
学科専任教員の当該調査対象となる組織に関する評価内容を含む報告書はなし。
自己点検評価に関しては毎年度実施しており冊子として取り纏めている。
現在のところ教職員に限定し配付。

③ 認証評価を受ける計画
平成２５年度に公益財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を受審、同機構の定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けた。今後については、令和元年１０月に受審することとなっている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無　（有 ・ 無）

b 公表有の場合の公表（予定）時期　（ 令和元年９月３０日 ）

b 公表無の場合の特段の理由　（　　）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。